

# 成田市国民健康保険運営協議会会議概要

## 1. 開催日時

平成26年7月24日（金）午後2時00分～午後3時05分

## 2. 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所議会棟 3階執行部控室

## 3. 出席委員

今井委員、丸委員、大貫委員、椿委員、小幡委員、藤倉委員、  
藤崎委員、富澤委員、眞鍋委員、宇野澤委員、西山委員、込山委員、  
小柳委員、秋山委員 山口委員

## 4. 市側出席者

(執行部)

小泉市長、大木市民生活部長

(事務局職員)

保険年金課

葛生課長、三橋課副参事、石橋資格課税係長、内田給付管理係長、

岩澤主査

納税課

山田課長、伊藤主幹、宮野徴収係長

## 5. 議 題 等

(1) 会長の選出

## (2) 報告事項

①報告第1号 平成25年度成田市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算（案）について

②報告第2号 平成25年度成田市国民健康保険特別会計（施設勘定）歳入歳出決算（案）について

## 6 議事（要旨）

会長の選出については、西山委員を選出する。

報告第1号、平成25成田市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算（案）について、事務局より説明する。

質問 国民健康保険税の収入について、納付率の状況はどうか。

答え 現年分の収納率は0.74%、繰り越し分で0.92%上昇している。

質問 国民健康保険税の収納率が上昇している理由はなにか

答え 徴収対策は基本的に同じであるが、徴収にかける期間や、財産調査とそれに基づいた差し押さえを積極的に執行しているため、収納率が上昇していると考える。

質問 国民健康保険税の収納率は、県内ではどの程度なのか。

答え 収納率の県内順位は、現年度と滞納繰越分を合わせた順位で県内54市町村中30位である。

質問 特定健康診査の受診率はどのくらいか。また、全県的にはどうか。

答え 25年度の最終的な結果は出ていないが、現在把握している受診率は、30.1%である。県内でみると、高い方ではない。

質問 特定健康診査の受診率が伸びていないようだが、どのような状況か。

答え 受診率は、23年度30.5%、24年度30.3%、25年度は最終的な数値は出ていないが現時点で30.1%、ほぼ横ばい状態である。特定健康診査は病気の早期発見により、医療費の抑制に繋がるので、本年度受診勧奨を行うとともに、受診率の高い市町村の状況を参考に、受診率の向上に努めていきたい。

質問 人間ドックの受検数はどうか。また、保健福祉館での健診で、時間のかからないよう、スムーズな受診の方策を考えていただきたい。

答え 人間ドックの受検数は、脳ドックを含め24年度586件、25年度588件で年々伸びている。

昨年度、特定健診の未受診者の内、無作為で千人の方にアンケートを実施。アンケート結果では、健診会場や健診受付時間の改善の要望があった。

健診の改善については、一般健診を実施している健康増進課と協議し、可能な限り要望に応えられるようにしたい。

報告第2号、平成25成田市国民健康保険特別会計（施設勘定）歳入歳出決算（案）について、事務局より説明する。

質問 25年度診療所の電気設備改修工事を行ったが、今後の改修予定はあるのか。

答え 大栄診療所は昭和45年建築で、老朽化が進んでいたことから、ここ数年で外壁や屋根等の改修工事を、25年度に電気設備と内壁の改修工事を行ったので、当面は大きな改修工事の必要はないと考えている。

質問 財政調整基金より、27,667千円取り崩しているが、25年度末の残高はいくらか。

答え 25年度末残高は、104,157,211円である。

質問 診療所の今後についてはどうなのか。

答え 診療所は旧大栄町から引き継いだ施設で、地域医療施設として重要な施設であり、地元大栄地区からの存続の強い要望があることから、現在の施設を使用して維持していきたい。

質問 診療所の医師の確保について、今の先生は年齢が高齢だが、今後の医師の対応はどうするのか。また、一般管理の予算で医師の確保はできるのか。

答え 診療所の経営は基本的には、黒字経営であり、診療報酬と人件費等の経費の収支は黒字となっている。現在の医師は、高齢ではあるが、当分の間は勤務していただけると伺っている。

高齢である現在の医師のことを考え、本年度より、千葉大学から医師の派遣をお願いしている。現在の医師と千葉大医師での

診察で診療所を維持していきたい。

質問 現在の医師は70歳で高齢だが、定年の考えは。

答え 市の条例上、医師の定年は68歳となっている。職務の特殊性から3年延長し、27年度末までは勤務が可能な状態にある。その後については、医師と相談しながら、嘱託、非常勤などの形態で勤務していただき、千葉大学からの派遣医師と合わせて、現状の診察体制を維持していきたい。

その他で事務局より、医療費と保険税の推移について説明

(質疑なし)

会議の概要は、以上のとおりです。

## 7 傍聴

傍聴者なし

## 8 次回開催日 (予定)

平成27年 1月下旬～2月上旬